

令和7年10月31日における職員団体との総務部長交渉に係る 概要について

現業部門のあり方

職員団体の主な主張	<ul style="list-style-type: none">○ 現場の人員はギリギリの状態である。現場の声を聞き、内申に蓋をせず、増員すること。○ これまで培った技術や経験を次の世代へ継承するためにも、前倒し採用を含め、計画的な採用を実施すること。
総務部長の回答	<ul style="list-style-type: none">○ 人員については、今後も業務量の変化等をしっかり見定めながら、職場実態をよく確認し、必要な人員を配置していく。○ 採用については、これまでもあり方検討で整理した内容に沿って、必要な対応を行ってきたが、引き続き適切に対応していく。